

国文学科の歩み

明治三二年(一八八八)六月 相愛女学校設置認可

昭和三年(一九二八)三月 相愛女子専門学校設置の許可を得、国文科を置く

昭和二五年(一九五〇)三月 相愛女子短期大学設置認可せられ、国文科を置く

昭和二六年(一九五一)四月 教職課程(国語)認可

昭和四四年(一九六九)四月 短大国文科を国文学科に名称変更

昭和五八年(一九八三)四月 大学・短大、南港キャンパスへ移転 国文学科入学生定員増

昭和六一年(一九八六)四月 国文学科臨時定員増

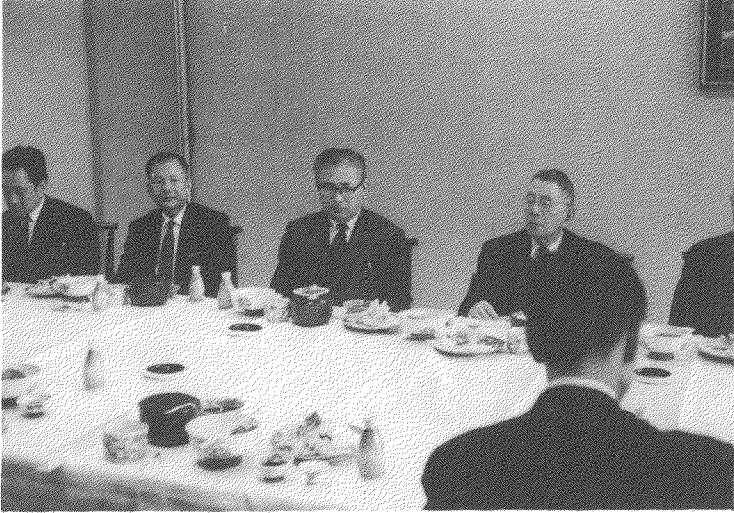
昭和六三年(一九八八)三月 『相愛国文』創刊

平成九年(一九九七)四月 国文学科臨時定員増延長

平成十二年(二〇〇〇)四月 短大国文学科を日本語日本文学科に名称変更



(前列) 亀井勝一郎氏 今小路覚瑞先生 丹羽文雄氏 井上友一郎氏
(昭和28年11月 於大阪中之島公会堂「文芸講演会」第1回)



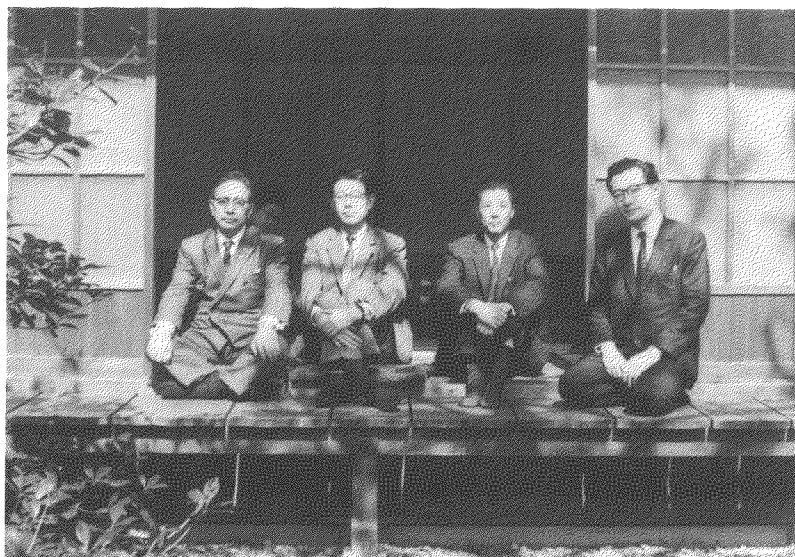
大橋清秀先生 井之口有一先生 鈴木一男先生 久松潜一先生
 (昭和41年12月3日)



海辺忠治先生 中野恵海先生
 柿谷雄三先生 円地文子氏
 森本茂先生 田中重太郎先生
 (昭42年5月19日 円地文子先生とともに 本町学舎中庭で)



塩田良平先生 集中講義 (昭和43年)



中野恵海先生 田中重太郎先生 森本茂先生 柿谷雄三先生